

### 環境調査結果のお知らせ

令和7年8月28日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・パピリオナセアが最高で178 cells/mL、シャットネラ属が最高で7 cells/mL、タカヤマ属が20 cells/mL確認されました。

すべての定点において表層から2m層水温が約30°C以上となっており、特に表層では31°Cに達する定点もみられました。海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ パピリオナセア	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A 鳴無 (3.3m) 【09:50】	0	<b>30.6</b>	30.9	5.8	0	1	-	-
	2	<b>30.3</b>	31.1	5.5	0	4	0	-
	5	28.7	31.5	0.6	0	0	0	-
	底層 8.5	28.3	31.7	0.0	0	0	0	-
	B 中学校前 (3.9m) 【09:57】	0	<b>30.7</b>	30.9	5.7	0	0	0
2	<b>30.4</b>	31.3	5.5	0	0	0	2,350	
5	28.9	31.6	3.0	3	0	0	1,540	
10	29.1	32.1	3.9	0	0	0	160	
底層 12	28.9	32.1	3.6	0	0	0	240	
C 目ノクソ (4.5m) 【10:08】	0	<b>30.7</b>	31.1	5.3	0	0	10	-
	2	<b>30.3</b>	31.4	5.1	1	0	10	-
	5	29.4	31.7	4.1	19	1	0	-
	10	29.3	32.1	3.7	0	1	0	-
	底層 15	29.0	32.3	4.2	0	0	0	-
D 光松 (4.1m) 【10:44】	0	<b>31.2</b>	31.1	5.6	0	0	20	2,800
	2	<b>30.4</b>	31.4	6.1	15	0	0	3,350
	5	29.7	31.9	5.2	71	0	0	2,100
	10	29.2	32.1	4.3	0	0	0	240
	底層 16.5	29.2	32.4	5.4	0	0	0	200
E 福良 (3.3m) 【10:18】	0	<b>30.8</b>	31.2	6.7	0	0	0	-
	2	<b>30.4</b>	31.4	6.6	8	0	0	-
	5	29.3	31.6	3.3	178	7	0	-
	10	29.0	32.1	2.9	1	0	0	-
	底層 11	29.0	32.2	3.1	0	0	0	-
F 大鹿 (3.9m) 【10:53】	0	<b>30.8</b>	31.3	6.0	0	0	0	-
	2	<b>30.4</b>	31.5	6.1	11	0	0	-
	5	29.6	32.0	5.2	51	0	0	-
	10	29.3	32.3	5.2	2	0	0	-
	底層 16.5	29.1	32.5	5.7	0	0	0	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 福良
- F: 大鹿